



運転支援外来における 安全運転指導

深澤聡志，佐藤理恵，中山聖悟，中山諒太，松塚翔司，園原和樹
医療社団法人敬仁会 桔梗ヶ原病院

2025年11月29日

第9回 日本安全運転医療学会学術集会

はじめに

当院の運転リハビリテーション(以下、運転リハ)の目的
安全運転の再獲得



①目視・安全確認②危険予測③徐行・一時停止に着目して
運転リハを行っている。

入院患者の場合は、介入期間も比較的長く、患者の特性を
十分に理解した状態での介入が可能であり、ドライブシミュ
レータを活用して運転リハ介入を行っていた。

【はじめに】

- 2024年までの運転支援外来における実車評価は、入院患者と比較して、支援・介入の時間が短く、道路交通法の理解が不足しており、目視による安全確認、徐行・一時停止、標識理解が不十分であった。
- その為、2025年度より運転支援外来では、外来安全運転指導を行った後に教習所での実車評価を行っている。
- 今回は、当院の外来安全運転指導の方法と意義を述べる。

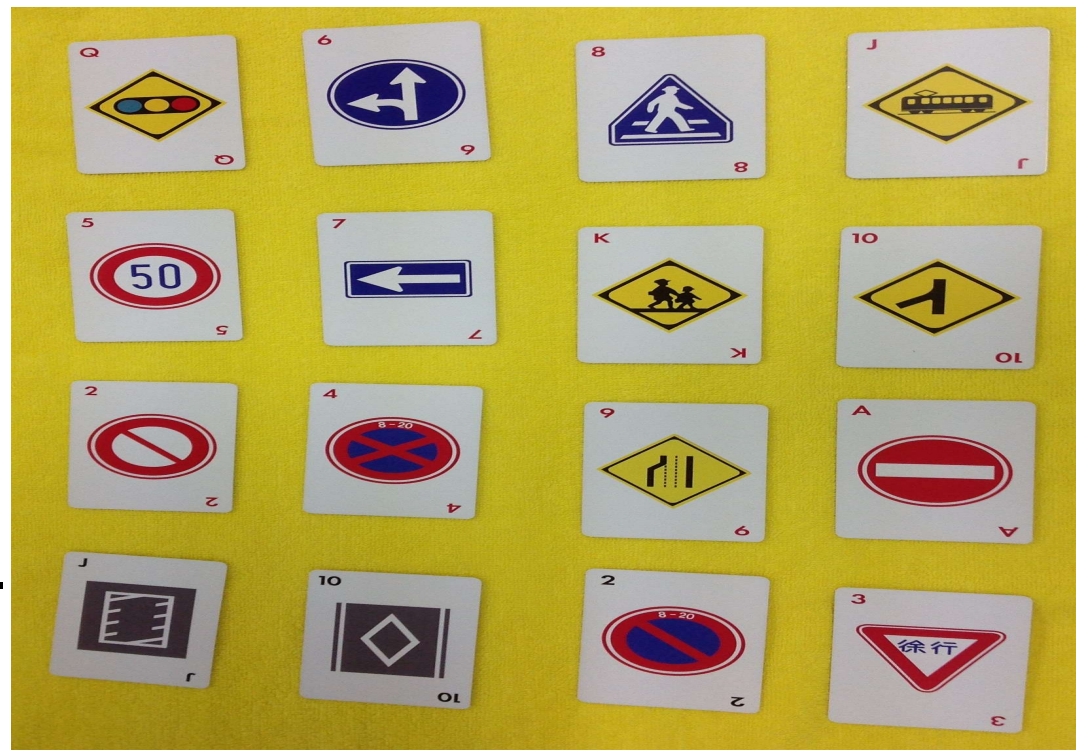
【方法】

- 標識を提示して、実車評価の前に道路交通法の理解度を確認
- HONDA&JAF Mate危険予測トレーニング(以下, KYT)による危険予測の確認

【実施内容①標識トランプ】

標識の意味を理解しているかを確認

- ①標識の意味を確認.
- ②似た意味の標識との違いを確認.
- ③標識を組合せて, 運転時に何に注意するかを確認.
- ④再度①で誤りを認めた標識を確認.



【実施内容②KYT】

起こりうる危険を予測して、複数指摘できるかを確認。

SCENE 78

市街地の交差点

右折して横断歩道を横切るところです。



HONDA & JRFMate Present

SCENE 78

市街地の交差点

右折して横断歩道を横切るところです。



HONDA & JRFMate Present

SCENE 78

市街地の交差点

右折して横断歩道を横切るところです。



HONDA & JRFMate Present

【実施結果】

- 実車評価の前に、患者の運転特性や道路交通法をどの程度理解しているかを確認することができた。
- 外来安全運転指導で得た情報を、事前に教習所や実際に実車評価に同行する運転支援チームのスタッフに共有することができた。
- 患者自身も、実車評価前の準備機会となり、外来の運転支援が円滑に行う事が出来る様になった。

【結語】

- 外来安全運転指導を通じて道路交通法を再確認することで、より充実した実車評価に繋がる可能性があると考えた。